



全国全共闘結成大会ルポ

二階に並び、参加者とその面を画
 所持品検査するモノノシ、と
 そのため各所で牛どのトラブル
 が起こった。「メカネをこね」「カ
 パンを見せる」「警官隊は強権
 的に命令する」「こんなことが許
 されるのか」と怒る学生に満
 足を感ぜられる警官は一人もいな
 い。「このささいな事だ」「公衆
 執行妨害だ」と高圧的。ポケット
 のスミから手紙のみまで調べ、
 軍手も、凶器として押収された
 本学駿河台図書館と学館間でそ

内ゲバで混乱も 出入口は機動隊のカベ

長団の紹介が行なわれた。そして
 神龍代表に始まる各団体からの挨拶が次々と述べられる中で、大会は徐々に盛り上っていった。演壇を囲むようにして数日本の赤旗が翻えり、舞台の上にも学生がいっぱいにすわり込んで、立席の余地もない。

キートンの強い演説には反響派から激しいヤジが飛ぶ。また、会場から目出しを食ったいた社学同赤派約一〇〇名もいつの間にか会場に入り込み、「赤旗」の赤旗をだして社学同赤派とごせり合いを始めた。ごせり合いのたびに会場が騒然となり、発言者の声もしばしばかき消されてしまふ。この「内ゲバ」に、一般の参加者は眉をひそめた。

一時、議長団から「基調報告をする予定の東大共闘代表山本義隆氏が先ほど演壇によって不意逮捕された。これは全国共闘連台に拘束する権力の真向からの挑発です」との報告がなされた。それまで山本氏の逮捕を知らなかった会場の大部分の学生は、その瞬間、「ナンセン」と口々に叫び、いなるごせり合いを激しい抗議の声を上げた。しかし山本代表の代役が基調報告を始めた、そのごせり合いも次第に収まった。

大会はその後、各学生組織からの決意表明に移ったが、各派とも演壇にセクト主義を前面に押し出したため、激しいヤジが飛びかいた。なかにはごせり合いをする者もいた。ごせり合いの中核派と反帝学評の対立は激しく、議長団も拍収て手をよく始末。一全共闘はセクトを乗り越え先相談ではないのか。……「つんぼさじまのノンセク」ト学生がはきはきするようにごせり合っていた。

社学同からの挨拶が行なわれていた時、それまでごせり合っていた赤派と赤派と「内ゲバ」が再燃。赤派は旗やオナンドで演壇を追い散らし、会場は再三、混乱した。

さらに大会は各大学共闘からの決意表明へと続いた。二番手に本学全二部共闘の本間慶典議長、三番手に一部共闘代表・福田直人君が挨拶し、一明大共闘は全

国共闘連合の先頭に立つて翻がごせり合っている。二時、全国共闘連合結成宣言が議長団によって読み上げられると、会場から大きな拍手と歓声が上った。その後、一大学立法論、安保論、神龍闘争勝利のために全国共闘の力を合わせ、最後まで闘うこと、という演説が、代表団人代表、ならびに「七〇年安保紛争・沖繩闘争勝利」、「十一月反帝攻撃紛争」など八二〇人が引き継ぎ拍手で承認。演壇の中、約五時間わたって行なわれた全国共闘連合結成大会はこうして六時半過ぎに幕を閉じた。インターの大会場が薄暗くなると、日比谷公園に全館を閉きすりながら帰された。先ほど行なわれた「内ゲバ」はつかの間のことだ。ただ、みんな互いに肩を組み合っている。疲れきった表情に初めて笑顔が見えたり。

この後約一〇〇〇人が代々木公園に向けてテモ行進したが、大きなトラブルはなかった。また反帝学評約八〇〇人は「早大登壇」を叫んで早大に向い、同大キャンパスで機動隊と衝突した。

なお、この日の逮捕者は山本義隆はじめ五四人であった。

▽全国共闘連合執行部人事
 議長 山本義隆(東大)
 副議長 秋田明夫(日大)
 執行委員 斎藤幹夫(中大)
 青島英夫(京大)・柴田誠(教青大)・桑原学(同)・菅日研三(東大)・水谷保孝(早大)
 ・間瀬明(九大)・中沢透(東大)

七〇年安保闘争、とりわけ一
 部共闘米阻止闘争のゆえを左
 するものとして各方面から注目
 浴びていた。赤マル派を除く反
 共学学生八派(中核派社学同・
 帝学評・解放戦線・学生インテ
 ・フロント・プロ学同・共学
)と本学全共闘の、大同団
 である全国共闘連合の結成
 会は、既報の通り、五日午後一
 から、日比谷公園・野外音楽堂
 治安当局の手短(七〇〇〇人
 はるかに上回る約二六〇〇〇人
 主催者側発表)の学生・院生・
 校生などを集めて開催された。
 当初、この大会は大規模な
 かれる予定であったが、大会初
 を叫ぶ赤マル派も同日・同時刻
 同大演壇での集会を予定して
 り、両派の衝突不可避と見
 大局の機動隊進入、同大演壇
 堂のロックアウトによって、
 場変更が余儀なくされ、急遽
 比谷・野音での開催となったも
 である。

午前十時過ぎから学生は続々、
 めかけだが、警備当局は警備隊
 〇〇〇人を動員して公園をとり
 囲み、さらに各入口には機動隊・
 服装が二〇〇枚にもわたって

れぞれ集会をもった本学一部共
 闘二〇〇人、二部共闘一〇〇人も
 十一時過ぎには日比谷公園に到着
 した。しかし、本学共闘の後尾
 にまぎれ混んで会場に入ろうと
 した東大共闘代表山本義隆(全
 国共闘連合議長に内定)東大連
 系大演壇(三年)は、警備の私服警
 官に拘束された。山本君は赤マル
 派の赤旗を手に、機動隊を追い
 スタイル。逮捕状が出てから三
 八日回であった。

十二時過ぎ、既に野外音楽堂は
 満員となり、入り切らない数千人
 が外でテモを繰り返している
 一時、開会宣言。引き続いて各
 人君が挨拶し、一明大共闘は全